


生ごみ処理機と生ごみ処理容器

	生ごみ処理機(電気式)		生ごみ処理容器
	乾燥式 (3～10 [㍴])	バイオ式 (3～10 [㍴])	コンポスト容器 (100～200 [㍴])
	 		
処理にかかる時間	2時間程度	5時間～24時間	6ヶ月程度
減容量	約1/7	約1/10	約1/2～1/3
設置場所	屋内・屋外		屋外
方式	<p>○乾燥方式 高温の熱や温風によって生ごみの水分を除去し、生ごみを乾燥させて、処理する方式。 生ごみの減量・脱臭ができ、処理物は除菌されているので、手で触れることができる。焦げたような臭いや独特の臭いがある。 基本的に、電気代以外はかからない。</p>	<p>○バイオ分解方式 (ハイブリッド式) バイオチップに含まれている微生物を使い、生ごみと水と炭酸ガスに分解する方式。 処理物は肥料にすることができる。運転中は腐葉土のようなニオイがする可能性がある。電気代は少しですむが、バイオチップ代がかかる。</p>	<p>○発酵分解方式 生ごみを投入し、乾いた土や落ち葉、雑草などを入れて有機物をエサとする微生物により発酵・分解していく方式。 畑など屋外で土に穴を掘り、20cmほど埋めて設置をして使用する。</p>
補助金額	<p style="color: red;">購入価格の1/2以内の額 (上限20,000円・100円未満の端数は切捨て)</p>		<p style="color: red;">購入価格の1/2以内の額 (上限5,000円・100円未満の端数は切捨て)</p>
補助基数	1世帯当たり6年度につき1基を限度とする。		1世帯当たり6年度につき2基を限度とする。